

令和2年度 経営発達支援事業 実施結果

及び伴走型小規模事業者支援推進事業 実施結果

[1] 経営発達支援事業の内容と結果

(1) 地域の経済動向調査

①各町担当課による経済動向分析

<経営発達支援計画記載事項>

「RESAS」「eSTAT」を活用した経済動向分析を実施し、分析結果を年1回公表する。

<今年度実施内容>

- ・中井町 … 現在分析中
- ・大井町 … 現在分析中
- ・松田町 … 現在分析中
- ・開成町 … 現在分析中

②管内小規模事業者に合わせた経済動向分析

<経営発達支援計画記載事項>

管内4町の分析結果をもとに管内事業者に合わせたデータを集積補完し年1回公表する。

<今年度実施内容>

町から寄せられる予定の経済動向を待って、分析する予定

③管内信用金庫調査を用いた経済動向分析

<経営発達支援計画記載事項>

管内信用金庫の景気動向調査を基に、小規模事業者の景気動向を分析し、年4回ホームページにて公表する

<今年度実施内容>

さがみ信用金庫が四半期ごとに出す中小企業景気動向調査を、ホームページにてリンクし公表した。

(2) 経営状況の分析

<経営発達支援計画記載事項>

これまでの指導・支援を行った事業者から対象者を選定し、定量・定性分析を実施。経営状況を把握し、支援資料として活用し、またフィードバックする。

<今年度実施内容>

新型コロナウイルス感染症の影響により、融資や補助事業への関心が高まったことが大きく影響し、融資における経営状況把握や補助金申請による経営状況・環境分析が増え、既存情報をベースにピックアップした事業者は少数にとどまった。結果は次の通りである。

- ・融資推薦による経営状況把握 … 72 事業所

- (中井町 10、大井町 31、松田町 20、開成町 11)
- ・補助金申請をきっかけとした分析 … 64 事業所
(中井町 12、大井町 11、松田町 22、開成町 19)
 - ・既存情報から選定した事業者の分析 … 7 事業所
- ※ 全て 2021 年 2 月 12 日時点

(3) 事業計画策定支援

<経営発達支援計画記載事項>

- ①事業計画策定に繋がるセミナーの開催 (参加者数目標 年 40 人)
- ②経営指導員と専門家が伴走型で、小規模事業者が事業計画を策定するように支援
(令和 2 年度目標数 40 件)

<伴走型小規模事業者支援推進事業計画記載事項>

- ①専門家を指導員アドバイザーとして迎え、支援チームを組んで売上・利益率向上を図る事業計画策定支援・改善事業計画策定支援事業を実施
- ②スキル獲得につながるセミナーの開催
- ③小規模事業者への支援策の訴求
(目標) 事業計画策定目標数 40 件

<今年度実施内容>

- ①支援チームによる事業計画策定支援・改善事業計画策定支援結果
補助事業を中心に計画策定支援を実施した。また、現状を改善しなければならない事業者においては、その分野に長けた専門家の投入を図り、改善計画の策定を支援した。※2021 年 2 月 12 日時点
 - ・補助事業計画策定 … 63 事業所
 - ・創業計画策定 … 1 事業所
 - ・改善計画策定 … 3 事業所
- ②セミナー実績
次の通りセミナーを開催した。
 - ・コロナ時代の売上向上策
10/7 開催 講師/金子綾 参加 9 名
 - ・コロナ時代の、売上向上のための IT 活用術
10/19 開催 講師/安藤準 参加 5 名
 - ・効果的な PR 戦略
11/5 開催 講師/松本典子 参加 11 名
 - ・コロナ時代の経営戦略
11/27 開催 講師/瀬戸正人 参加 8 名
 - ・税理士から見た、利益率 UP のための財務改善策
12/8 開催 講師/黒石陽子
 - ・生産性向上と人材管理

緊急事態宣言発令に伴い、感染症拡大防止のため中止

③広報実施結果

伴走型小規模事業者支援推進事業実施時及び各セミナー開催時に、商工会員へのチラシ配布を行ったほか、各セミナーにおいては告知チラシを新聞折り込みした。またそれぞれのタイミングに合わせ、商工会ホームページや商工会SNSにて発信を行った。

(4) 事業計画策定後の実行支援

<経営発達計画記載事項>

- ・支援のスケジュール化と伴走型サポート強化によるPDCAサイクルの確実な循環
- ・計画の進捗停滞に対する障害要因解消支援
- ・資金調達を伴う事業計画及び返済計画の遂行状況確認
- ・全職員による支援体制確立
- ・商工会・行政連携による支援体制確立
- ・弾力的なサポートの実施

(令和2年度目標数 売上増加事業者数 33 利益率2%以上の増加事業者数 33)

<伴走型小規模事業者支援推進事業計画記載事項>

- ①専門家を活用した実行支援事業
- ②専門的見地専門家派遣事業
- ③指導員アドバイザー（専門家）・法定経営指導員による進捗管理及び事業計画改善指導

(目標) フォローアップ対象事業者数 40 者
売上増加事業者数 33 者
利益率2%以上増加事業者数 33 者

<今年度実施内容>

- ①専門家を活用した実行支援事業

事業の改善を必要とする事業者に、指導員アドバイザーとして常駐する専門家及び法定経営指導員が幾度か面談し、課題を抽出。その課題解決に適した中小企業診断士を派遣し、改善計画からその実行支援までを行った。

- ・中小企業診断士派遣事業所数 … 2 事業所

※2021年2月12日現在

- ②専門的見地専門家派遣事業

ITや集客手段という、より専門的な支援が必要となった小規模事業者に、その見地を持つ専門家を派遣。相談内容へのアドバイスというだけでなく、事業主の環境に合わせたプランニング及びその実行支援を行った。

- ・IT専門家派遣事業所数 … 1 事業所
- ・集客コンサルタント派遣事業所数 … 1 事業所

※2021年2月12日現在

③進捗管理及び事業計画改善指導

補助事業を含め、計画を策定した事業者の進捗管理を実施。特にはやいかいぜんが望まれる事業者においては、専門家・指導員による支援チームが具体的に聞き込みを行い、支援に必要な人材を手配した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者が多く、また影響の受け方も大きなものであったため、結果としては、改善を促せたものの前期比では軒並みマイナスとなった。

- ・実施支援事業所数 … 32 事業所
- ・現状維持及び売上増事業者数 … 5 事業所
- ・利益率2%増加事業者数 … 3 事業所

(5) 需要動向調査

<経営発達支援計画記載事項>

- ①各町と共に、商工会のアンテナショップを活用し、ブランド化が図れる商品を開発。試食等アンケートを実施し調査結果を分析し、開発事業所・町行政にフィードバックを行う（令和2年度目標 調査事業者数 50 社）
- ②BIOTOPIA・道の駅における試食アンケートの実施（令和2年度目標 調査事業者数 10 社）。

<今年度実施内容>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施

(6) 新たな需要開拓の寄与

<経営発達支援計画記載事項>

- ①B to Cによる売り上げ拡大
 - ・商品ブラッシュアップ支援
 - ・WEB販促支援
- ②B to Bの新規商談獲得支援
 - ・販売促進計画作成等による事前支援
 - ・商談会・展示会への出展支援

<伴走型小規模事業者支援推進事業計画記載事項>

- ①商品・企業の段階的成長を促す販路開拓事業
- ②B to Bの新規取引先獲得支援
- ③サービスや商品紹介を行うサイトへUPする広報支援事業

（目標）アンテナショップ新規商品出品事業者数 4 者

年間売上額/1 者あたり 12 万円

BIOTOPIAマルシェ販路獲得事業者数 3 者

月間売上額/1 者あたり 2 万円

地元中堅スーパーへの販路獲得事業者数 2 者

成約件数／1 者あたり 1 件

広報支援事業による紹介事業者数 10 者

販路開拓件数／5 者、対前年比増／5 者

<今年度実施内容>

①今年度は、コロナ禍で将来よりもまずは間近な資金確保が最優先という状況となり、また展示会など催しにおいても中止や模索しながらの開催となるなど、段階的成長を促すプログラムの実行が難しい環境であった。その中で、次の事業を実施した。

・アンテナショップにおいて、新規商品出品事業者 1 者の支援を実施。

月額売上／4500 円

・販路拡大窓口として、大井町の新たなふるさと納税サイトに窓口を設置。

②B to B取引支援として、地方銀行フードセレクション 2020 へ、4 社出展を促した。

出展企業／(有) 金子製麺、富士ボトリング (株)、

中沢酒造 (株)、(有) テクノプラン ※現在オンライン実施中

③サービスや商品紹介を行うスマートフォン対応型サイト「足柄人」へ 7 者紹介

販路開拓件数／0 者、対前年比増／0 者

※2021 年 2 月 12 日現在遂行中

(7) 地域経済活性化に資する取組

<経営発達支援計画記載事項>

①地域経済の活性化の方向性を共有する仕組みとして「里地里山をテーマとした地域活性化会議」を年 3 回開催し、地域の資産を活かした地域活性化の方向性を検討し、また連携を含めた具体策の展開を図る。

②上記会議の検討結果をもとに、各町ブランド育成事業等を活用しながら小規模事業者と共に商材を揃えていく。また、消費額目標を定め、イベントPRなどで消費拡大を目指すとともにWEBや商談会で地域経済の活性化を図る。

<今年度実施内容>

①②とも、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、未実施。

(8) 他の支援機関との連携ほか情報交換に関すること

<経営発達支援計画記載事項>

県西地域指導員等研修会や県西地域中小企業支援ネットワーク会議、足柄上地域商工会連絡協議会へ参加し、支援ノウハウ及び情報を吸収する。

<今年度実施内容>

研修会・会議は予定されていたものの、新型コロナウイルス感染症により不要不急な用事として全て中止となり、未実施。

(9) 経営指導員の資質向上等

<経営発達計画記載事項>

- ①外部講習会等の積極的活用
- ②職員を講師とした経営指導員・経営支援担当職員研修の実施
- ③職員間の定期ミーティングの開催
- ④支援情報のデータ共有

<今年度実施内容>

- ①新型コロナウイルス感染症対策を施した中小企業大学校の研修に、経営指導員2名、中小企業診断士1名を参加させ、スキルアップを図った。
- ②個別にそれぞれ必要なスキルを伝授し、支援能力の向上を図った。
- ③朝礼等で時間を割き、新型コロナウイルス感染症における経済対策の周知・サポート方法他、各種情報の共有を図った。
- ④NASによるデータ共有を図り、また支援中の小規模事業者について情報を共有しあった。

(10) 事業評価及び見直しの仕組み

<経営発達支援計画記載事項>

- ①法定経営指導員の進捗確認
- ②事業実施結果の公開
- ③事業評価委員会の開催
- ④成果・評価・見直し結果の、地域の小規模事業者への公開

<今年度実施内容>

- ①今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初は資金繰り相談が相次ぎ、また伴走型小規模事業者支援推進事業の採択も8月にずれ込むなど、全体として事業の開始が遅くなった。そのため、進捗確認は11月の1度だけとなった。なお進捗確認を行った事により、支援事業所に専門的な知見を持つ専門家を導入する等、手当てを施した。
- ②WEB上に公開予定
- ③事業評価委員会は2月24日、開催予定
- ④成果・評価・見直しの結果は、WEBにて公開予定